

健康警告表示の強化に必要なエビデンスの構築

分担研究者 櫻田尚樹 国立保健医療科学院生活環境研究部・部長
田淵貴大 大阪国際がんセンターがん対策センター疫学統計部・副部長

研究要旨

本研究の目的は、国民の健康を守る観点から、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約（WHO Framework Convention on Tobacco Control; WHO FCTC）の履行状況を検証し、政策提言を行うことであり、分担課題としては、FCTC 第 11 条 健康警告表示について検討した。

第 11 条では喫煙率の減少に向けたたばこ製品の健康警告表示について定められ、その実行のためのガイドラインが示されている。現在国内の製品で実施されている、曖昧で文字のみの警告が与える影響力は小さい。2016 年 6 月の財政制度等審議会 たばこ事業等分科会表示等部会において、警告表示の改定案が示された。昨年度の調査では、この改定案について意識調査を行ったところ、警告表示としてのインパクトが小さいことが示された。本年度は、モデルパッケージを提示して、WEB アンケートによる意識調査を行った。

調査は、日本の一般住民を対象として、モデルパッケージを提示して、種々の認知・意識を問うものとして、インターネット調査を 2018 年 1 月 26 日～3 月 20 日に実施した。

その結果、現行のパッケージ表示が、「タバコの有害性を認識するのに十分な表示方法であるか？」という質問に対し、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の回答割合の合計が 54.80%と過半を占めていた。海外の画像付き警告表示を知っているという回答は全体で 32.64%であり、喫煙経験を有するものほど、認知が高い傾向が認められた。「若者に喫煙開始を思いとどまらせる効果」、「禁煙したいと思わせる効果」、「喫煙の危険性を伝える効果」はいずれも、画像付き警告表示において高い効果が期待されると回答された。

望ましいパッケージデザインとしては、画像が大きく、警告表示の面積が最大（全体 75%、画像と文字の比率は約 2:1）のパッケージ・デザインを 1 位に選んだ割合が全体で 52.82%と過半であった。

本調査は断面調査であり、現解析では種々の要因の調整も実施されていないが、画像付きで端的で明確なメッセージを提示するパッケージがタバコ対策に有効とする認識が高いことが示唆された。

今後国内において、世界標準となっている画像警告表示の導入を含めた総合的な健康警告表示対策をより一層強力に推進していく必要がある。

A. 研究目的

2005 年、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約（FCTC）が発効し、締約国は、たばこ消費の削減に向けた広告・販売への規制や密輸対策をはじめ、たばこによる健康被害防止のためのヘルスコミュニケーションの実施が要求されている。

「第 11 条：たばこ製品の包装及びラベル」では、締約国に対して、喫煙を主な要因とする疾病の警告表示の義務付けや、各国でのたばこ政策の実施へ向けた国内法制定のための実践的な支援対策がガイドラインとして提示されている。こうした FCTC の発効により、各国でのたばこ対策は飛躍的に進められている¹⁾。カナダは世界で初めて 2001 年より画像警告表示を導入し、2017 年には 105 ケ国まで増加している²⁾。その他、禁煙者の増加を目的に実施された、包装上に禁煙電話相談サービス（クイットライン）の連絡先を表示する対策や、オーストラリアでは 2012 年よりたばこ製品特有の色使い・画像・マ

ークなどの使用が禁じられた「プレーンパッケージ」が導入されている。

一方、日本国内では、財務省所管の「たばこ事業法」施行規則第 36 条の規定により「注意文言」が包装主要面の 30%の面積で記されているだけであり、FCTC で求められる最低限の条件を満たすのみである。この様に、他国と比べても日本国内のたばこ対策は大きな遅れを取っている状況にある。

このような中、2016 年 2 月に「たばこ事業法」を所管する財務省により、たばこパッケージ表示の見直しと、警告文の表示をより効果的なものへ強化していく方針が発表された。2016 年 6 月の財政制度等審議会 たばこ事業等分科会表示等部会において、同年 4 月に実施した「注意文言の認知状況等に関するアンケート調査」結果を交えて、「注意文言の在り方について」が提示された³⁾。その中では、現行の注意文言と比較して、「注意文言の内容を簡潔なものとし、文字数を削減して読みやすい表現とする。」「未成

年者の喫煙防止に関する注意文言をすべての商品のパッケージに表示する。」ことなどが提案されているが、画像警告表示については、「過度に不快感を与えないようにすることが必要と考えられる。」として今後の検討課題とされた。

昨年度の調査では、財務省提案に対する国民の認識について WEB アンケート調査により意識調査を行ったところ、警告表示としてのインパクトが小さいことが示された。本年度研究では、モデルパッケージを提示して、国民の認識について WEB アンケート調査により実施検討を行った。

B. 研究方法

日本の一般住民を対象として楽天リサーチ株式会社によりインターネット調査を実施した。調査実施期間は2018年1月26日～3月20日であった。

質問項目は、現行のパッケージに対する認識、海外での画像付き警告表示の導入の認知度、Fongらの報告⁴⁾を参考に、現行デザインに加え、文字を大きくしたテキストだけの警告表示、画像付きの警告表示などのモデルパッケージを提示し、「若者に喫煙開始を思いとどまらせる効果」、「禁煙したいと思わせる効果」、「喫煙の危険性を伝える効果」、「警告表示として、望ましいと思う順位付け」について質問した。

質問項目の詳細は、後述の<アンケート質問項目>を参照いただきたい。

なお、別項目で質問した、下記(1)～(2)のいずれかに該当する者を不正回答とみなし、分析から除外した。

(1)「あなたは、現在アルコールや薬物を飲んだり、使ったりしていますか。下記のそれぞれについてお答えください。1.アルコール(ビール・日本酒・焼酎・ワイン・ウイスキーなど) 2.睡眠薬・抗不安薬 3.ネオシーダー 4.シンナーやトルエンなど有機溶剤の吸引(仕事上の適切な使用については問わない) 5.モルヒネなどの麻薬(癌による疼痛に使用する場合などを除く) 6.危険ドラッグ(脱法ハーブ・マジックマッシュルームなど) 7.大麻(マリファナ) 8.覚せい剤・コカイン・ヘロイン」の質問に対して全ての項目に「ほとんど毎日使った」と回答した者

(2)「あなたには現在、持病がありますか。1.高血圧 2.糖尿病 3.喘息(ぜんそく) 4.アトピー性皮膚炎 5.狭心症 6.心筋梗塞 7.脳卒中(脳梗塞もしくは脳出血) 8.COPD(慢性閉塞性肺疾患) 9.がん(肺, 口腔咽頭, 喉頭) 10.

がん(食道, 胃) 11.がん(肝臓, 膵臓, 腎臓, 尿路, 膀胱) 12.がん(その他) 13.うつ病 14.うつ病以外の精神疾患」の質問に対して全ての項目に「現在ある」と回答した者。

有効回答, 10,403例についてクロス集計結果を提示する。

(倫理面への配慮)

本研究に関して大阪府立成人病センター(現在の大阪国際がんセンター)の倫理審査委員会からの承認を得て実施した。

C. 研究結果と考察

C.1. 現行のパッケージに対する認識 (Q60)

「国内で販売されるたばこのパッケージの警告表示が、タバコの有害性を認識するのに十分な表示方法であるか?」という質問に対し、「そう思う」、「ややそう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の回答割合が、それぞれ15.80%, 29.40%, 33.07%, 21.73%であり、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が54.8%と過半を占めていた。喫煙状況別にみると、喫煙者において現行の表示で認識するのに十分とする回答割合が高い傾向にあった。

C.2. 海外の画像付き警告表示に対する認知 (Q61)

画像付き警告表示を知っているという回答は全体で32.64%であったが、喫煙状況別にみると、非喫煙者, 過去喫煙者, 喫煙者において、それぞれ, 25.39%, 32.25%, 44.20%と、喫煙経験を有するものほど、認知が高い傾向が認められた。

C.3. <モデルパッケージ>について、どのように評価するか(Q62)

現行のパッケージ表面 30%にテキストのみの警告表示から、警告表示の文字を大きく端的な表現にしたもの、画像付きのモデルなど5種類のパッケージモデルを提示して回答を求めた。

「若者に喫煙開始を思いとどまらせる効果」については、喫煙状況に関わらず、テキスト情報だけのパッケージの効果は低いとする回答が大半であった。画像警告表示を入れることで、効果が高いとする回答が増加した。

「禁煙したいと思わせる効果」、「喫煙の危険性を伝える効果」についてもほぼ同様の傾向が認められた。

C.4. 望ましい<モデルパッケージ>の順位付け

5種類の提示したモデルパッケージにおいて、望ましい順位付けでは、全体で52.82%が画像が大きく、警告表示の面積が最大（全体75%、画像と文字の比率は約2:1）のパッケージ・デザイン[5]を1位に選んだ。一方で、喫煙状況別にみると、デザイン[5]を1位に選んだ割合は、非喫煙者、過去喫煙者、喫煙者において、それぞれ、60.91%、61.16%、34.06%と、喫煙者群だけが少なく、逆に、デザイン[5]を5位に選んだ割合は、それぞれ19.61%、22.61%、50.76%と、喫煙者においては、画像警告表示を避ける傾向が認められた。

財務省が、2016年4月に「注意文言の認知状況等に関するアンケート調査」を実施したほぼ同時期に、国立がん研究センターにおいて「たばこパッケージの警告表示について」意識調査を実施し結果を公表している⁵⁾。

その結果概要では、

- 画像を不快・不適切と感ずるかどうかは、意見が分かれるが、喫煙者が表示を認識し、表示内容を読む効果が大きいのは、**画像付きの警告表示**。
- 警告表示の面積割合を大きくすることについては、喫煙者の47%、成人全体の**72%が賛成**。
- 警告表示に画像を入れることは、喫煙者の半数近く、成人全体の**70%が賛成**。**反対は喫煙者でも20%と少ない**。

と報告されており、たばこ事業等分科会表示等部会の提示案とは相当に乖離するところである。今回の調査においても、喫煙者、非喫煙者を問わず、健康警告表示として、画像付き警告表示の導入を含めた、より明確な情報提示の必要性が示唆された。

D. 結論：警告表示のインパクト

The International Tobacco Control Policy Evaluation Project (ITC プロジェクト)に基づき国際比較可能な質問紙を用いて日本の喫煙者のたばこ警告表示に関する認知に関して検討したところ、たばこ警告表示に気づいた人、たばこ警告表示をきっかけに健康への害を大いに考えた人、たばこ警告表示によって自分が禁煙する可能性が大いに高まると回答した人が、いずれも警告表示が進んでいる国に比較し、圧倒的に少なかった。文字だけで、長文の警告表示は、

喫煙者に対しても読まれる機会は低く、たばこ規制の取り組みから受けているインパクトが諸外国に比べ非常に小さいことが示されている⁶⁾。

WHOによるFCTCの発効により、世界各国では喫煙に対するさまざまなたばこ対策が進められ、中でも、画像による健康警告表示やプレーンパッケージの導入の先駆けとなったカナダやオーストラリアでは、規制の強化により喫煙率の低下にも大きく貢献してきている。

パッケージの健康警告表示は1日20本喫煙する喫煙者であれば、年間最低7,200回は目にし、有効なパッケージデザインを選択すると強力なタバコ対策となる。実施は、規制当局で方針を提示することが可能であり最も実施しやすい政策の一つでもある。

今後、国内でのFCTC第11条普及のため、たばこ警告表示を短く明確な文言を用い、より大きな文字・面積で示すとともに、少なくとも写真・画像警告表示の導入を早期に実現し、主に未成年者を対象とした喫煙に関する教育・啓発に力を注ぐとともに、喫煙者のためのクイットラインの表示を含め、総合的なたばこ対策をより一層強力に推進していく必要がある。

E. 引用文献

- 1) 櫻田尚樹.第3章・第5節 たばこ製品の警告表示. 喫煙の健康影響に関する検討会編「喫煙と健康 -喫煙の健康影響に関する検討会報告書-」;2016:p523-535.
- 2) Canadian Cancer Society, Cigarette Package Health Warnings International Status Report, 4th Edition <http://www.tobaccolabels.ca/wp/wp-content/uploads/2016/11/Cigarette-Package-Health-Warnings-International-Status-Report-English-CCS-Oct-2016.pdf>
- 3) 財務省財政制度等審議会たばこ事業等分科会(第35回,平成28年6月7日) https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_tabacco/proceedings/material/tabakok20160607.html
- 4) Fong GT., et al. Perceptions of tobacco health warnings in China compared with picture and text-only health warnings from other countries: an experimental study. Tob Control. 2010 Oct;19 Suppl 2:i69-77. doi: 10.1136/tc.2010.036483.
- 5) 国立がん研究センター. たばこパッケージの警告表示について意識調査実施. 画像付きの警告表示に過半数が賛成. (2016年5月30日)

http://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/press_release_20160530.html

- 6) 仲下祐美子,大島明,増居志津子,中村正和.
たばこ規制に対するたばこ使用者を対象にした調査結果の国際比較, 厚生の指標,
2016.63(6):24-32.

F. 研究発表 (平成 29 年度)

1. 原著論文

なし

2. 総説・著書 (関連論文を含む)

- [1] 榎田尚樹. タバコ対策の新たな火種:
加熱式タバコへの対策. 健康管理
2018; 65(6):21-34.
- [2] 榎田尚樹. 加熱式たばこなど新しいた
ばこおよび関連製品の普及の現状 今
後の喫煙対策を考える. 産業保健と
看護. 2018; 10(2): 160-163.
- [3] 榎田尚樹. 新型タバコの分析 電子タ
バコ in 特集 禁煙 up to date 新型タ
バコなど喫煙対策の最新情報. 治療.
2017; 99(11): 1378-1381.
- [4] 榎田尚樹. 新型タバコの分析 加熱式
タバコ in 特集 禁煙 up to date 新型
タバコなど喫煙対策の最新情報. 治療.
2017; 99(11): 1382-1385.
- [5] 作田学, 榎田尚樹, 野村英樹, 高野義
久. 新型タバコとは何か? われわれ
はどう対応すべきか? in 特集 禁煙
up to date 新型タバコなど喫煙対策の
最新情報. 治療;
2017;99(11):1370-1376.
- [6] 榎田尚樹. 新しいタバコおよび関連商
品をめぐる公衆衛生課題. 学術の動向
2017; 22(6): 60-64.

3. 学会発表

- [1] Kunugita N, Bekki K, Inaba Y,
Uchiyama S. Concentrations of
Hazardous Chemicals in Mainstream
Aerosol Generated by Heat-not-burn
Tobacco. 17th World Conference on
Tobacco or Health (WCTOH);
2018.3.7-9; Cape Town, South Africa.
- [2] Kunugita N, Inaba Y, Bekki K. Health
warnings of tobacco products in
Japan. Annual Conference of the

International Society for
Environmental Epidemiology;
2017.9.24-28; Sydney Australia.

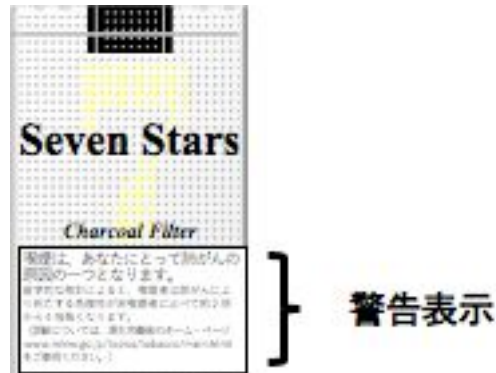
- [3] Kunugita N, Uchiyama S, Inaba Y,
Bekki K. Determination of chemicals
in novel tobacco products. WHO 1st
Meeting of the Global Tobacco
Regulators Forum (GTRF),
2017.4.20-21, Ottawa, Canada.
- [4] 榎田尚樹, 稲葉洋平, 戸次加奈江, 内
山茂久. 加熱式タバコに含まれる有害
物質. 日本医学会連合公開シンポジウ
ム「加熱式タバコと健康 - 使用実態・
科学的評価の現状と今後の課題 -」;
2018.3.25; 東京.
- [5] 榎田尚樹. 国内における新規タバコの
動向と国内外の規制の状況. 第 88 回日
本衛生学会学術総会; 2018.3.22-24;
東京.
- [6] 榎田尚樹. 新型タバコの有害成分分析
と健康影響. 第 103 回健康管理研究協
議会; 2018.3.17; 東京.
- [7] 榎田尚樹, 稲葉洋平, 戸次加奈江, 内
山茂久. 加熱式タバコをはじめとする
新規タバコおよび関連商品をめぐる
公衆衛生課題. 第 27 回日本禁煙推進医
師歯科医師連盟学術総会シンポジウ
ム; 2018.2.18; 横浜.
- [8] 榎田尚樹, 稲葉洋平, 内山茂久, 戸次
加奈江. 加熱式たばこの有害成分分析
紙巻たばこ, 電子たばこの比較
(シンポジウム). 第 76 回日本公衆衛生
学会総会; 2017.10.31-11.2; 鹿児島
- [9] 榎田尚樹, 内山茂久, 稲葉洋平, 戸次
加奈江. 加熱式タバコの問題点と対策
加熱式タバコの成分分析. (禁煙ワー
クショップ) 第 58 回日本肺癌学会学
術集会; 2017.10.14-15; 横浜.
- [10] 榎田尚樹, 稲葉洋平, 内山茂久, 戸次
加奈江. 加熱式たばこを含む新規たば
こおよび関連製品と健康影響. 第 90
回日本産業衛生学会; 2017.5.11-13;
東京.

G. 知的財産権の出願・登録状況

なし

< アンケート質問項目 >

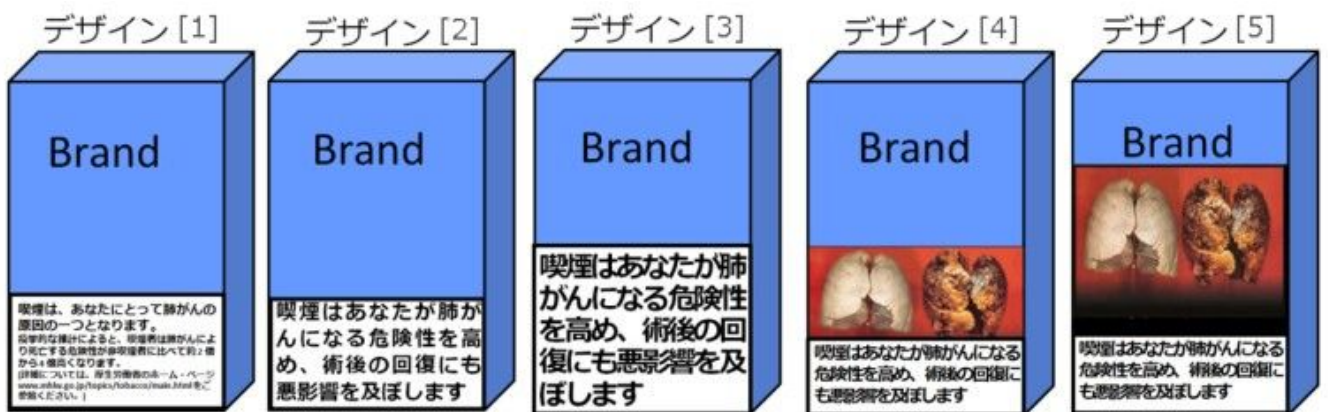
Q60 現在，国内で販売されるたばこのパッケージには，喫煙が引き起こす健康影響などの警告表示が表示されていますが，これらはタバコの有害性を認識するのに十分な表示方法だと思いますか。
 選択肢；1.そう思う 2.ややそう思う 3.あまりそう思わない 4.そう思わない



Q61 海外では，以下のパッケージに表示されている様に，喫煙によって生じる病気の写真・画像が警告表示として使われていることを知っていますか。
 選択肢；1.知っている 2.知らない



Q62 下図に示すタバコのパッケージデザイン [1] ~ [5] について，お答えください。



Q62-1 若者に喫煙開始を思いとどまらせる効果がどれくらいあると思いますか。

選択肢；1.全く効果がない 2.少し効果がある 3.中程度効果がある
 4.かなり効果がある 5.極めて効果がある

Q62-2 警告表示を目にした場合に，どれくらい禁煙したいと思わせる効果があると思いますか。

選択肢；1.全く効果がない 2.少し効果がある 3.中程度効果がある
 4.かなり効果がある 5.極めて効果がある

Q62-4 タバコの警告表示として，望ましいと思う順に順位付けしてください。

< アンケート結果概要 >

表1. 回答者の特徴

性別	男性	女性	男女計
合計人数	6057人	4346人	10403人
性別	58.22%	41.78%	100%
年齢			
15-19	0.78%	0.74%	0.76%
20-29	8.40%	12.59%	10.15%
30-39	17.04%	20.36%	18.43%
40-49	24.42%	23.31%	23.96%
50-59	24.53%	19.93%	22.61%
60-69	24.83%	23.08%	24.10%
喫煙状況			
非喫煙者 (Never-smoker)	32.28%	67.60%	47.04%
過去喫煙者 (Former smoker)	29.27%	15.39%	23.47%
やめる意思のある喫煙者 (Current smoker with intention to quit)	21.41%	10.24%	16.24%
止めたいとは思っていない喫煙者 (Current smoker with no intention to quit)	17.04%	6.77%	12.75%

Q60.現在、国内で販売されるたばこのパッケージには、喫煙が引き起こす健康影響などの警告表示が示されていますが、これらはタバコの有害性を認識するのに十分な表示方法だと思いますか。

	(%) 非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
そう思う	11.23	15.25	23.32	15.80
ややそう思う	26.91	27.20	34.92	29.40
あまりそう思わない	34.67	34.05	29.85	33.07
そう思わない	27.18	23.51	11.91	21.73

Q61.海外では、以下のパッケージに表示されている様に、喫煙によって生じる病気の写真・画像が警告表示として使われていることを知っていますか。

	(%) 非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
知っている	25.39	32.25	44.20	32.64
知らない	74.61	67.75	55.80	67.36

回答割合の最も高いセルを太字で提示（以下同様）

Q62-1.若者に喫煙開始を思いとどまらせる効果がどれくらいあると思いますか。

デザイン	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
デザイン1				
全く効果がない	57.04	54.09	41.07	51.53
少し効果がある	28.38	31.09	39.01	32.21
中程度効果がある	11.26	11.52	14.80	12.39
かなり効果がある	1.93	2.06	3.64	2.48
極めて効果がある	1.38	1.24	1.49	1.38
デザイン2				
全く効果がない	45.07	44.03	34.22	41.55
少し効果がある	35.71	36.75	40.43	37.37
中程度効果がある	15.19	15.42	20.34	16.80
かなり効果がある	2.75	2.78	3.74	3.06
極めて効果がある	1.28	1.03	1.27	1.22
デザイン3				
全く効果がない	30.56	32.16	26.71	29.75
少し効果がある	31.03	30.88	31.94	31.27
中程度効果がある	28.99	27.62	30.74	29.21
かなり効果がある	7.35	7.37	8.49	7.70
極めて効果がある	2.08	1.97	2.12	2.07
デザイン4				
全く効果がない	15.00	13.45	14.89	14.62
少し効果がある	20.26	18.54	18.06	19.21
中程度効果がある	27.08	25.05	23.67	25.59
かなり効果がある	28.71	32.08	29.98	29.85
極めて効果がある	8.96	10.88	13.40	10.74
デザイン5				
全く効果がない	13.80	12.93	14.42	13.79
少し効果がある	16.31	14.43	16.32	15.89
中程度効果がある	22.86	21.84	20.60	21.95
かなり効果がある	24.13	25.14	23.54	24.18
極めて効果がある	22.90	25.65	25.13	24.20

Q62-2-2.警告表示を目にした場合に、どれくらい禁煙したいと思わせる効果があると思いますか。

デザイン1	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
全く効果がない	57.00	56.96	45.88	53.62
少し効果がある	26.36	27.20	33.27	28.65
中程度効果がある	12.91	11.99	16.07	13.66
かなり効果がある	2.20	2.57	3.36	2.63
極めて効果がある	1.53	1.29	1.43	1.44

デザイン2	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
全く効果がない	48.11	49.64	40.15	46.04
少し効果がある	32.45	31.48	36.44	33.44
中程度効果がある	14.94	14.30	18.73	15.95
かなり効果がある	3.05	3.34	3.23	3.17
極めて効果がある	1.45	1.24	1.46	1.40

デザイン3	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
全く効果がない	37.30	40.86	33.90	37.07
少し効果がある	29.40	27.50	30.93	29.43
中程度効果がある	24.98	23.26	26.46	25.04
かなり効果がある	6.17	6.42	6.46	6.32
極めて効果がある	2.16	1.97	2.25	2.14

デザイン4	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
全く効果がない	17.18	16.19	17.05	16.92
少し効果がある	22.86	21.93	20.66	21.98
中程度効果がある	26.47	24.41	23.61	25.14
かなり効果がある	23.49	26.51	25.98	24.93
極めて効果がある	10.00	10.96	12.71	11.04

デザイン5	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
全く効果がない	15.90	14.86	16.57	15.87
少し効果がある	20.11	19.27	18.70	19.49
中程度効果がある	24.10	22.83	21.99	23.18
かなり効果がある	20.32	21.88	20.63	20.76
極めて効果がある	19.56	21.16	22.12	20.70

Q62-3.喫煙の危険性を伝える効果がどれくらいあると思いますか。

デザイン1	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
全く効果がない	53.91	52.72	39.89	49.39
少し効果がある	29.01	30.49	37.58	31.94
中程度効果がある	13.17	12.76	17.21	14.30
かなり効果がある	2.44	2.70	3.49	2.82
極めて効果がある	1.47	1.33	1.84	1.55

デザイン2	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
全く効果がない	45.66	46.42	34.51	42.45
少し効果がある	34.22	33.36	39.89	35.75
中程度効果がある	15.51	15.59	20.25	16.97
かなり効果がある	3.18	3.34	3.83	3.41
極めて効果がある	1.43	1.29	1.52	1.42

デザイン3	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
全く効果がない	36.03	37.35	28.99	34.19
少し効果がある	29.34	29.04	32.89	30.35
中程度効果がある	25.88	25.40	28.71	26.63
かなり効果がある	6.47	6.25	7.07	6.60
極めて効果がある	2.28	1.97	2.35	2.23

デザイン4	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
全く効果がない	15.29	13.53	13.47	14.34
少し効果がある	20.91	20.81	18.54	20.17
中程度効果がある	24.98	23.38	22.69	23.93
かなり効果がある	26.49	27.58	28.30	27.28
極めて効果がある	12.34	14.69	17.02	14.28

デザイン5	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
全く効果がない	14.01	12.72	13.25	13.49
少し効果がある	18.26	18.72	17.17	18.03
中程度効果がある	23.11	21.67	21.32	22.24
かなり効果がある	22.13	22.18	22.34	22.21
極めて効果がある	22.50	24.71	25.92	24.03

Q62-4.望ましいデザインの種類

1位選択	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
デザイン1	12.07	14.05	32.95	18.85
デザイン2	3.48	3.60	8.81	5.12
デザイン3	13.86	12.89	18.00	14.90
デザイン4	9.68	8.31	6.18	8.31
デザイン5	60.91	61.16	34.06	52.82

2位選択	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
デザイン1	2.52	2.48	6.94	3.86
デザイン2	18.75	21.33	43.41	26.81
デザイン3	5.88	5.57	6.72	6.07
デザイン4	63.25	63.38	36.85	55.27
デザイン5	9.59	7.24	6.08	8.00

3位選択	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
デザイン1	7.66	8.52	14.54	9.94
デザイン2	4.50	4.71	5.89	4.97
デザイン3	76.14	77.82	70.41	74.78
デザイン4	6.41	4.58	5.10	5.60
デザイン5	5.29	4.37	4.06	4.71

4位選択	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
デザイン1	3.60	3.38	3.11	3.40
デザイン2	71.03	68.48	40.34	61.15
デザイン3	2.77	2.44	3.11	2.80
デザイン4	18.00	21.07	48.42	27.92
デザイン5	4.60	4.63	5.04	4.74

5位選択	非喫煙者	過去喫煙者	喫煙者	合計
デザイン1	74.15	71.56	42.46	63.95
デザイン2	2.24	1.88	1.55	1.95
デザイン3	1.34	1.29	1.77	1.46
デザイン4	2.67	2.66	3.45	2.90
デザイン5	19.61	22.61	50.76	29.73

